



チーム	1Q	2Q	3Q	4Q	TOTAL
桜美林大 THREENAILS CROWNS	0	0	0	0	0
明治大 GRIFFINS	14	9	7	6	36

春のオープン戦第2戦はビッグ8の桜美林大学スリーネイルズクラウンズとの対戦。

格上として結果を求められる1戦であると同時に、後半ではセレクションの1年生を含む多くの選手を起用し、新戦術にもチャレンジするなど秋シーズンを見据えた意味ある試合となった。

攻撃は#7RB木村凱が1Qだけで2タッチダウン(写真①)、2Qには#2WR後藤航太郎へのエンドゾーンコーナーへのパスでタッチダウン(②)を追加。守備陣も、相手にほとんどファーストダウンの更新(フレッシュ)を許さず攻守交代を引き寄せた。

2Qには、#44DL/LB海津大稀がエンドゾーン内でRBを仕留めるロスタックル(③)でセーフティ2点を奪う好プレーも飛び出した。

3Q開始直後には、後藤(航)が90ヤードのキックオフ・リターン・タッチダウンを決め(④)、30対0と突き放し、4Qには#30QB田中香大が自身で中央を抜けるQBラン(⑤)でタッチダウンを締めくくった。守備も緩むことなく、#34DB小林良大がインターセプト(⑥)で守り抜き、36対0の完封勝利となった。

随所でビッグプレーが反則で取り消されるなど課題も残ったが、多くの選手が実戦を経験し、様々な戦術を試せたことは、秋のシーズンへの大きな糧となった。

第2戦 VS. 桜美林大 THREE NAILS CROWNS



■応援席から

桜美林戦では応援団が駆け付け、盛り上げてくれました。ハーフタイムには応援練習も。声を出しやすい言葉やタイミングを工夫し、フィールドとスタンドの一体感の演出に笑顔で汗を流してくれています。ご家族からも、熱い応援をお願いします！ミニメガホンなど応援グッズは試合会場GRIFFINSブースとSTUDIO21で販売しています。

<http://studio21.shop8.makeshop.jp/shopbrand/ct194/>



■次戦

6月7日(日)13:00 VS. 法政大学ORANGE @法政大学川崎総合グラウンド

昨年度秋大会では法政大に勝利したGRIFFINS。

試合会場を GRIFFINSカラー(イエロー、ネイビー、ゴールド)で埋め尽くしましょう！

ALL OUT Go! GRIFFINS



明治大学アメリカンフットボール

GRIFFINS

立命館大学との合同練習 2026年5月9・10日

5月9日、10日の2日間、明治大学グリフィンズは甲子園ボウル2連覇中の立命館大学パンサーズとの合同練習を実施しました。全国トップレベルの強豪校との貴重な機会に、選手たちは多くの刺激を受けながら充実した時間を過ごしました。

初日は、全体練習に加えてポジションごとのパート練習が多く行われ、それぞれの場面でパンサーズの選手やコーチから細かなアドバイスを受けながら汗を流しました(写真①)。日本一を経験しているパンサーズの技術力や練習への姿勢、細部へのこだわりには学ぶ点も多く、グリフィンズの選手たちにとって非常に有意義な時間となったようです。

練習後は選抜メンバー3チーム+女子チームに分かれて綱引大会も開催(②)。圧倒的なフィジカルの強さを見せるパンサーズにグリフィンズは苦戦を強いられましたが、女子部員同士の対決ではグリフィンズが勝利。一矢報いる場面もあり、大いに盛り上がりました。

2日目は、より実戦形式に近いスクリメージを実施(③)。前半は自陣30ヤードから攻撃をスタートし、攻守交替でシリーズを繰り返しました。後半はレッドゾーン(相手陣30ヤード以内)での攻防となり、試合を意識した緊張感のある内容でした。

守備では、時折タックルで相手をロスさせたり、鋭いカットでゲインを止める場面もありましたが、基本に忠実なパンサーズの攻撃に押し込まれる展開でした。一方、攻撃では思うようにゲインを重ねられない苦しい時間が続く中でも、ロングパスの成功や中央突破によるタッチダウンランを決めるなど、意地を見せるプレーも飛び出していました。

後半のゴール前30ヤードからの攻防では、試合巧者らしく確実に攻め切るパンサーズが着実にタッチダウンを重ね、その完成度の高さを見せつけました。それでも、グリフィンズもインターセプトで相手の攻撃を食い止めるなど、随所に粘り強さを発揮しました。

今回の合同練習で得た経験を、今後の成長につなげていきます。

